

六花

令和5年2月3日

新関小学校 学校だより 7号

〒956-0825 新潟市秋葉区下新766

TEL : 0250-22-0995 FAX : 0250-22-6529

題字： 中村 白香

「伝」 新関小学校の伝統を受け継ぎ伝えよう～今年も創立150周年～

新関小学校 校長 石塚智久

令和5年のスタートにあたり、子どもたちに「六花とは何のことだろうか？」と問いました。校歌の歌詞に出てくることから、「りっか」という読み方はすぐに分かりました。「冬の季語」というヒントで、多くの子が「雪」であると気付きました。「ろくのはな」とはよく言ったものです。雪をよく見てみると、確かに美しい六角形の結晶です。水は凍るとき六角形の形でくっつきやすく、その六角形に水が付いて成長し、寒さや風の具合によっていろいろな形に変わっていくそうです。細かい違いで120種類以上にも分けられるそうです。

雪の結晶の映像を見ていると、さらに子どもたちは、「新関小学校の校章も、六花だ」という事に気付きました。澄み渡る雪景色の中に、厳かに佇む新関小学校の校舎が、雄大な原風景のように思い浮かびます。校歌には、二番に出てくる六花の言葉の他にも、雪景色につながる歌詞が出てきます。三番の歌詞を意識して、子どもたちに伝えました。

「ああ、(新関小の子は) 雪の影が伸びる中で書物を読み、しっかり勉強していたという。

さあ、むかしの人を手本にして、一生懸命に勉強に取り組もう。

ほこり高い校旗の(六花の)しるしは、新関小学校の子どもが、日々大切にしたい心を表しているのである。」

この歌詞を書いた人は、第12代校長の青木嘉吉先生です。1924年から1927年にお勤めされました。その後1938年に、以前の木造校舎が新築されたことを記念し、青木先生の書かれたこの詩を新たに校歌と決めました。それ以前は今の「大江阿賀の～」とは別の校歌だったそうです。青木校長先生の歌詞が校歌になってから85年。校舎は立て替えられましたが、青木先生が歌詞に込めた「むかしの人を手本にして、一生懸命に勉強に取り組もう。」という願いは、今も私たちが校歌を歌うたびに、時代を超えて受け継がれています。

そのように考えて、私の今年の一文字を「伝」と決めました。今年も、新関小学校の伝統を大切にしたい。そして伝は伝えるとも読みます。今年だけではなく、良い伝統を未来の新関小学校へしっかり伝えていくことも大切にしたい。なぜなら、今年も新関小学校創立150周年を迎えるその年だからです。今年創立150周年を迎えることは、明治に日本の学校制度が始まって、ごく初期に作られた学校だという証です。新関小は、全国の数ある学校の中でも、最も歴史と伝統がある学校の一つなのです。その伝統を大切に受け継ぎ、発展させ、未来へ伝えていくために、今年も「伝」を大切に、健やかな子どもの育成に努めたいと決意を新たにしています。創立記念日は、12月1日(金)です。創立150周年を祝う記念事業の計画も進めていますので、保護者、地域の皆様の温かいご理解とご支援を、よろしくお願い申し上げます。

新関小学校 校歌
作詞 青木 嘉吉
作曲 林 松木

一 大江阿賀の水澄みて
洋々ここに幾千年
紫雲たなびく東の
空にはるけき宝珠山
げにゆうゆうの自然かな
ここ学舎はそびえ立つ

二 春東風の花吹雪
秋そうそうの夕嵐
仰げとうとくひるがえる
六花のよそおいおごそかに
我等の心かくとこそ
輝き映ゆる旗の色

三 あわれ雪影ふみ読みて
道を求めし語り草
いでや古人をのりとして
学びの道にいそしまん
けだかき旗のしるしこそ
我等が日々の心なれ



第12代校長
青木嘉吉先生

【2月の生活目標】

正しい言葉づかいをしよう

- ・友だちを「〇〇さん」とよぶ。
- ・「です ます」を使って丁寧に話す。
- ・時や場に合った言葉づかいについて考える。
- ・自分が言われてうれしい言葉を使う。

【3月の生活目標】

心があたたかくなる言葉をかけ合おう

- ・友だちを「〇〇さん」とよぶ。
- ・友だちにやさしくする。
- ・友だちの気持ちを考えて、声をかける。
- ・「ありがとう」を言う。

2月の行事予定



3月の行事予定



- 1日(水) スクールカウンセラー勤務日
- 2日(木) 委員会
家庭学習強調週間・のびのび週間
- 6日(月) 学校生活アンケート(3・4年)
- 7日(火) 学校生活アンケート(1・2年)
なわとび記録会
- 8日(水) 学校生活アンケート(5・6年)
- 14日(火) 避難訓練
- 15日(水) 新入生保護者会
- 17日(木) 委員会(引継ぎ)
- 22日(水) スクールカウンセラー来校日
- 24日(金) 六年生を送る会
第3回学校運営協議会
- 28日(火) 全校朝会
年度末PTA役員会

- 2日(木) 委員会(新組織)
- 8日(水) 卒業式練習
- 9日(木) 地域子ども会
- 13日(月) 卒業式練習
- 15日(水) 4時間授業日
- 16日(木) 4時間授業日
卒業式練習
学年末大清掃
- 17日(金) 4時間授業日
給食最終日
- 20日(月) 後期終業式
卒業式準備(4・5年生)
卒業式練習内
- 22日(水) 第76回卒業証書授与式
- 23日(木) 春季休業

FMにいつ「未来に届け!ラジオカプセル」
2月17日(金) AM7:00~ PM8:00~(再)
6年生が出演します。ぜひお聞きください。

2月22日(水) 13:35~16:35 に、阿部勢津子スクールカウンセラーが勤務します。相談希望の方は、担任か教頭にご連絡ください。

学校ホームページがリニューアルしました。ぜひご覧ください。http://blog.city-niigata.ed.jp/shinseki/

【シリーズ 特別支援教育②】

必要感や困り感に応じた「カスタマイズ」もできます 「合理的配慮」

前回取り上げた「個別最適な学び」は、学級全員が自分の学び方や興味・関心に合わせて学習用具や学習方法を選択できるようにする、全員に選択肢が提供される「カスタマイズ」でした。特別な準備や方法を使うのではなく、学級全員が、一般的な内容や方法から自分に適したものを選択して学習を進めることができるのが「個別最適な学び」です。

学校での学習や生活では、さらにもう一段階上の「カスタマイズ」も可能です。お子さんの特に強い必要感や困り感に合わせて、学習や生活の仕方、使う道具などを個別に「カスタマイズ」するもので、「合理的配慮」と言います。

『五体不満足』で有名な乙武洋匡さんが小学生の頃、学級には「オトちゃんルール」という特別なルールがあったそうです。例えばドッジボールの時は「乙武さんがボールを持ったら、全員が乙武さんの3メートル以内にまで近寄る」ことになっていました。手足の短い乙武さんがボールを投げることが出来る距離を考慮して、みんな一緒に楽しく活動するために工夫されたルールです。

このように、特に必要感や困り感をもつお子さんが、みんなと同じように活動するための学習や生活の内容や方法の「カスタマイズ」が「合理的配慮」です。「合理的配慮」は、お子さんの必要感や困り感に応じて、ご家庭と学校、そして当事者であるお子さん本人とで相談した上で実施します。

「個別最適な学び」は、子どもたちの学習状況や興味・関心に応じて担任の裁量で実施します。対して、「合理的配慮」は、本人やご家族からの相談、または学校側からの提案で検討をスタートし、相談を重ねた上で実施します。ご心配なことがある場合は、担任や特別支援教育コーディネーターへご相談ください。

(特別支援教育コーディネーター 井上 幸信)